



やまがとうろうしくみあい
山鹿灯籠師組合



概要

団体名	山鹿灯籠師組合
代表者	畠山 慶司
構成	9名
推薦団体	山鹿市
主な活動地	山鹿市

本賞

山鹿灯籠師組合は、「山鹿灯籠」の制作にあたって、制作者が一丸となって技術の向上や後継者育成に取組むことを目的として、昭和二十五年に結成した団体です。当組合は、永年にわたって「山鹿灯籠」の維持継承に努めるとともに、毎年八月に開催される山鹿市を代表する山鹿灯籠祭りにおいて中心的な役割を担い、観光振興にも貢献してこられました。

このような取組みにより、平成二十五年に「山鹿灯籠」が国の伝統的工芸品に指定されるとともに、平成二十六年には、当組合が第六十四回熊日賞を受賞されました。また、当組合員が中心となり、平成二十四年に山鹿灯籠振興会を新たに設立するとともに、平成二十七年から、経済産業省から振興計画の認定を受け、「山鹿灯籠」の普及や後継者の育成に向けて、更に発展した取組みが行われています。

このように、当組合は「山鹿灯籠」の制作、普及活動を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和二十五年 山鹿灯籠師組合結成

平成二十四年 山鹿灯籠振興会を設立

平成二十五年 「山鹿灯籠」が国の伝統的工芸品に指定

平成二十六年 熊日賞受賞

平成二十七年 山鹿市合併十周年記念式典功労賞受賞